

県政モニター調査結果

【外国人住民と共に暮らす香川づくりについて】の調査集計結果

1. 趣 旨

香川県における在留外国人数は、平成26年末には8,946人で、県民のおよそ100人に1人が外国人となっています。
今後ますますの増加が予想される中、県では、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化の違いを尊重しあいながら、地域社会の一員として、共に生きていくことによって社会全体をより豊かなものにしていこうという「多文化共生」を「国際交流」、「国際協力」と並ぶ第3の柱として位置づけ、各種施策に取り組んでいるところです。

2. 調査期間

平成27年5月22日～6月5日

3. 調査対象

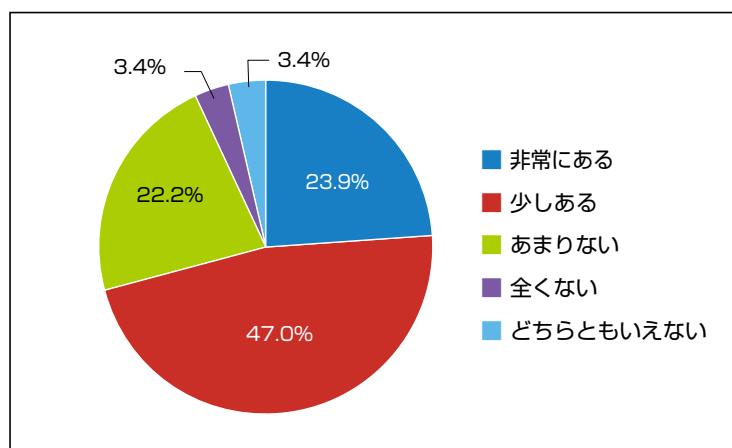
県内在住の住民 248人

5. 回収状況

依頼数 248人 回収数 234人 回収率 94.4%

① あなたは、国際交流、国際協力、外国人住民支援など、国際化について関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
非常にある	56	23.9%
少しある	110	47.0%
あまりない	52	22.2%
全くない	8	3.4%
どちらともいえない	8	3.4%
計	234	100.0%

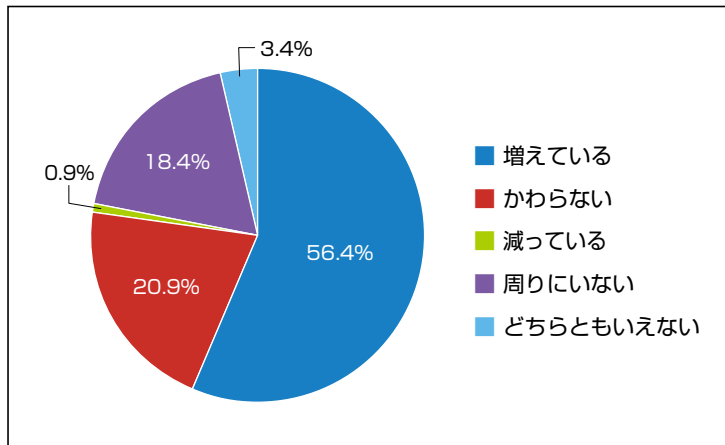


国際交流、国際協力、外国人住民支援など、国際化について関心があるかどうかについては、「非常にある」は23.9%であるが、これに「少しある」の47.0%を合わせると、【ある】が70.9%と7割を超える。

一方、「あまりない」が22.2%で、これに「全くない」(3.4%)を合わせた【ない】は25.6%と3割もない。

(2) あなたの近所や職場では、外国人が増えたと感じていますか。次の中から1つだけ選んでください。

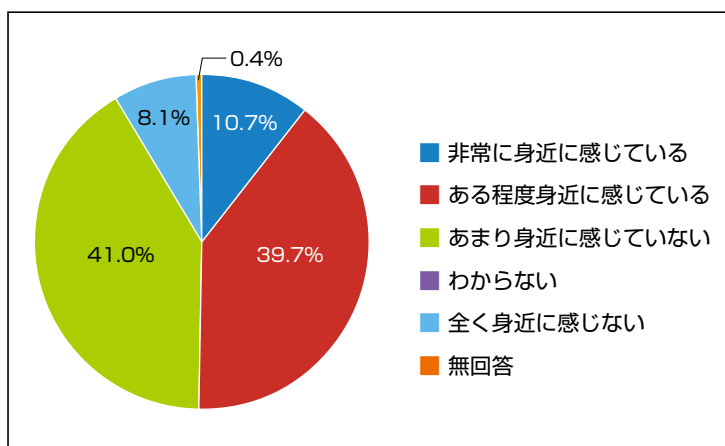
選択肢	回答者数	構成比
増えている	132	56.4%
かわらない	49	20.9%
減っている	2	0.9%
周りにいない	43	18.4%
どちらともいえない	8	3.4%
計	234	100.0%



近所や職場で外国人が増えたと感じているかどうかについては、「増えている」が56.4%と5割を超え最も高い。
次いで「かわらない」が20.9%、「周りにいない」が18.4%、「どちらともいえない」が3.4%で、「減っている」は0.9%に過ぎない。

(3) あなたは、普段生活をしていて、外国人の存在を身近に感じますか。次の中から1つだけ選んでください。

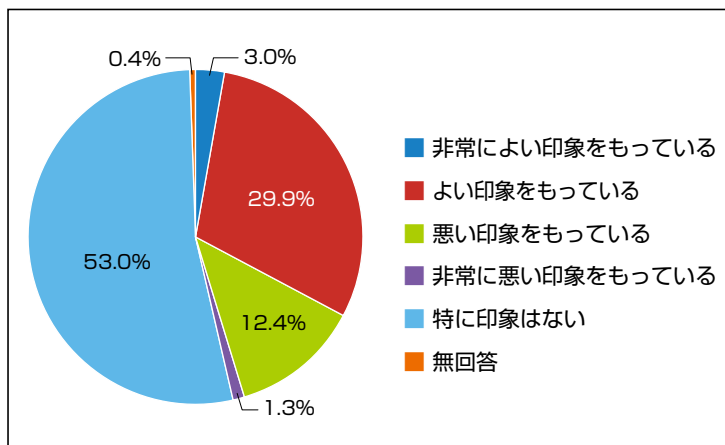
選択肢	回答者数	構成比
非常に身近に感じている	25	10.7%
ある程度身近に感じている	93	39.7%
あまり身近に感じない	96	41.0%
全く身近に感じない	19	8.1%
わからない	0	0.0%
無回答	1	0.4%
計	234	100.0%



普段生活をしていて、外国人の存在を身近に感じるかどうかについては、「あまり身近に感じない」が41.0%と4割を超え最も高く、これに「全く身近に感じない」の8.1%を合わせた【身近に感じない】が49.1%とほぼ半数である。
一方、「ある程度身近に感じている」が39.7%で、「非常に身近に感じている」の10.7%を合わせた【身近に感じている】は50.4%と5割を超えている。

(4) あなたは、普段生活をしている中で、外国人に対してどのような印象をお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
非常によい印象をもっている	7	3.0%
よい印象をもっている	70	29.9%
悪い印象をもっている	29	12.4%
非常に悪い印象をもっている	3	1.3%
特に印象はない	124	53.0%
無回答	1	0.4%
計	234	100.0%

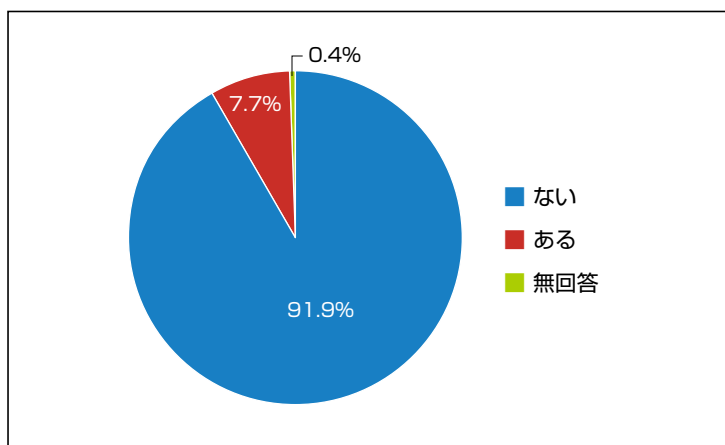


普段の生活の中で外国人に対して持っている印象については、「特に印象はない」が53.0%と5割を超えている中で、「よい印象をもっている」が29.9%で、これに「非常によい印象をもっている」の3.0%を合わせた【よい印象をもっている】が32.9%となっている。

一方、「悪い印象をもっている」が12.4%で、「非常に悪い印象をもっている」の1.3%を合わせた【悪い印象をもっている】は13.7%となっている。

(5) あなたのお住まいの地域で、外国人とのトラブルがありますか。次の中からどちらか選んでください。

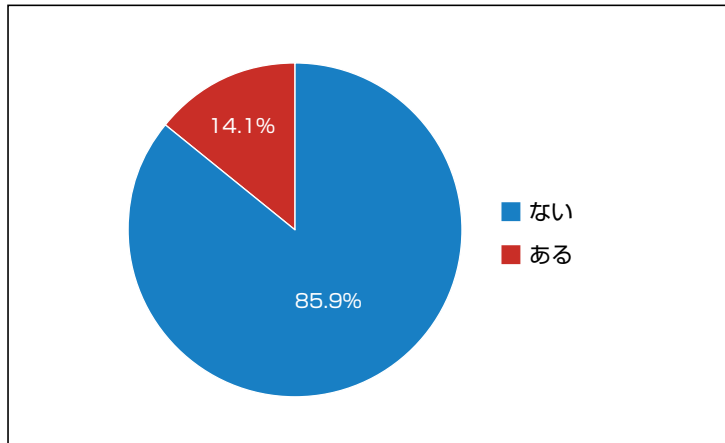
選択肢	回答者数	構成比
ない	215	91.9%
ある	18	7.7%
無回答	1	0.4%
計	234	100.0%



居住地域での外国人とのトラブルの有無については、「ない」が91.9%と9割を超え、「ある」は7.7%と1割に満たない。

(6) あなたは、県内で、外国人が困っている場面に遭遇(そうぐう)したことはありますか。次の中からどちらか選んでください。

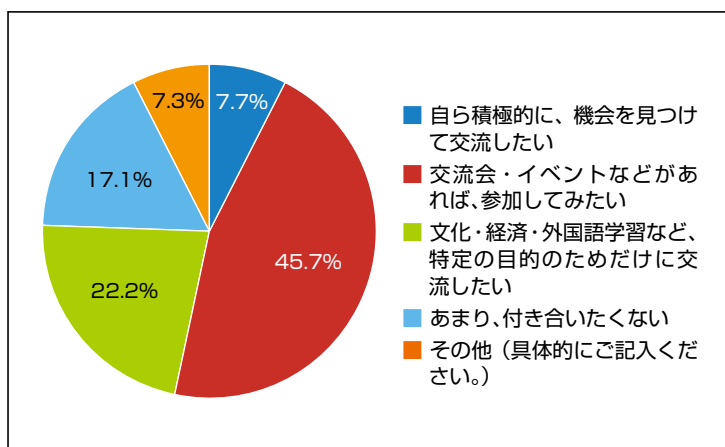
選択肢	回答者数	構成比
ない	201	85.9%
ある	33	14.1%
計	234	100.0%



県内で、外国人が困っている場面に遭遇したことの有無については、「ない」が85.9%と8割を超え、「ある」は14.1%と2割に満たない。

(7) あなたは、外国人住民とどのようなお付き合いをしたいですか。次の中から1つだけ選んでください。

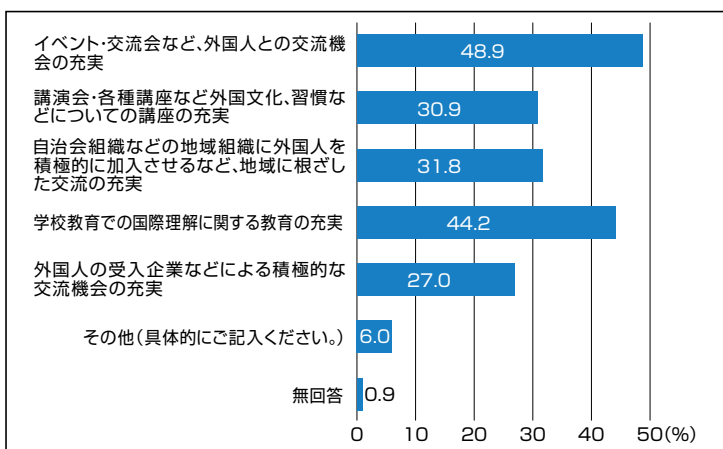
選択肢	回答者数	構成比
自ら積極的に、機会を見つけて交流したい	18	7.7%
交流会・イベントなどがあれば、参加してみたい	107	45.7%
文化・経済・外国語学習など、特定の目的のためだけに交流したい	52	22.2%
あまり、付き合いたくない	40	17.1%
その他(具体的にご記入ください。)	17	7.3%
計	234	100.0%



外国人住民とどのようなお付き合いをしたいかについては、「交流会・イベントなどがあれば、参加してみたい」が45.7%と4割を超えて最も高く、次いで「文化・経済・外国語学習など、特定の目的のためだけに交流したい」が22.2%である。これらのほか、「あまり、付き合いたくない」が17.1%、「自ら積極的に、機会を見つけて交流したい」が7.7%となっている。

(8) あなたは、文化や言葉、生活習慣の異なる外国人と友好的な関係を築き、共に暮らしていくために、県民の意識・関心を高めていくには、どのようにすればよいとお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

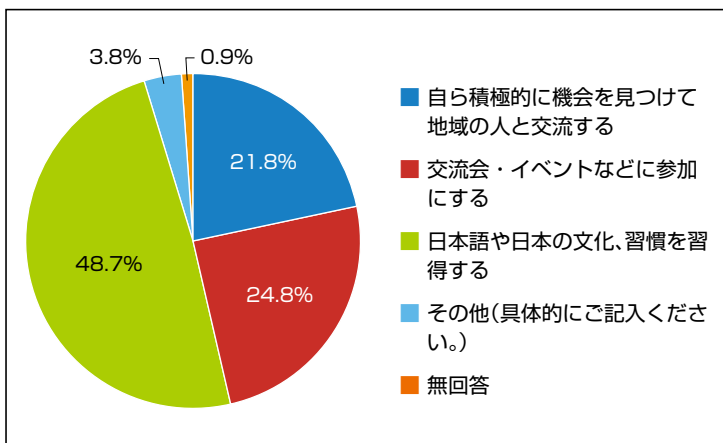
選択肢	回答者数	構成比
イベント・交流会など、外国人との交流機会の充実	114	48.9%
講演会・各種講座など外国文化、習慣などについての講座の充実	72	30.9%
自治会組織などの地域組織に外国人を積極的に加入させるなど、地域に根ざした交流の充実	74	31.8%
学校教育での国際理解に関する教育の充実	103	44.2%
外国人の受入企業などによる積極的な交流機会の充実	63	27.0%
その他(具体的に記入ください。)	14	6.0%
無回答	2	0.9%
計	233	



外国人と友好的な関係を築き、共に暮らしていくために、県民の意識・関心を高めていくには、「イベント・交流会など、外国人との交流機会の充実」が48.9%、「学校教育での国際理解に関する教育の充実」が44.2%と、これらが4割を超えており、以下、「自治会組織などの地域組織に外国人を積極的に加入させるなど、地域に根ざした交流の充実」が31.8%、「講演会・各種講座など外国文化、習慣などについての講座の充実」が30.9%、「外国人の受入企業などによる積極的な交流機会の充実」が27.0%などとなっている。

(9) あなたは、外国人住民が地域社会に溶け込むためには、外国人自身がどのようなことをすればよいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
自ら積極的に機会を見つけて地域の人と交流する	51	21.8%
交流会・イベントなどに参加する	58	24.8%
日本語や日本の文化、習慣を習得する	114	48.7%
その他(具体的に記入ください。)	9	3.8%
無回答	2	0.9%
計	234	100.0%

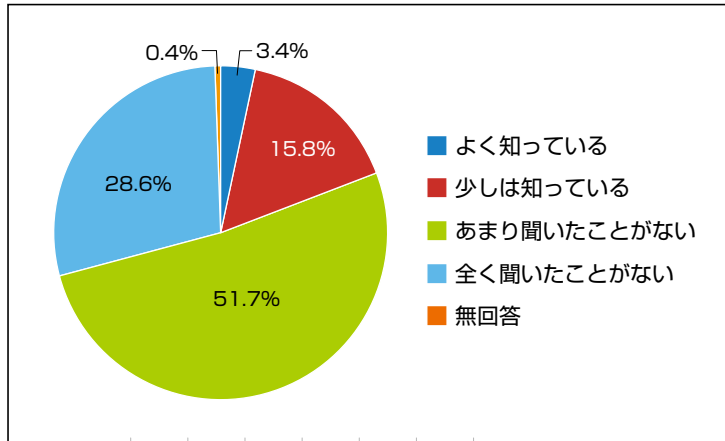


外国人住民が地域社会に溶け込むためには、外国人自身がどのようなことをすればよいかについては、「日本語や日本の文化、習慣を習得する」が48.7%と約5割で最も高く、次いで「交流会・イベントなどに参加する」が24.8%、「自ら積極的に機会を見つけて地域の人と交流する」が21.8%などとなっている。

(10)

あなたは、県が外国人住民の支援のための施策を実施しているのをご存知ですか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
よく知っている	8	3.4%
少しは知っている	37	15.8%
あまり聞いたことがない	121	51.7%
全く聞いたことがない	67	28.6%
無回答	1	0.4%
計	234	100.0%

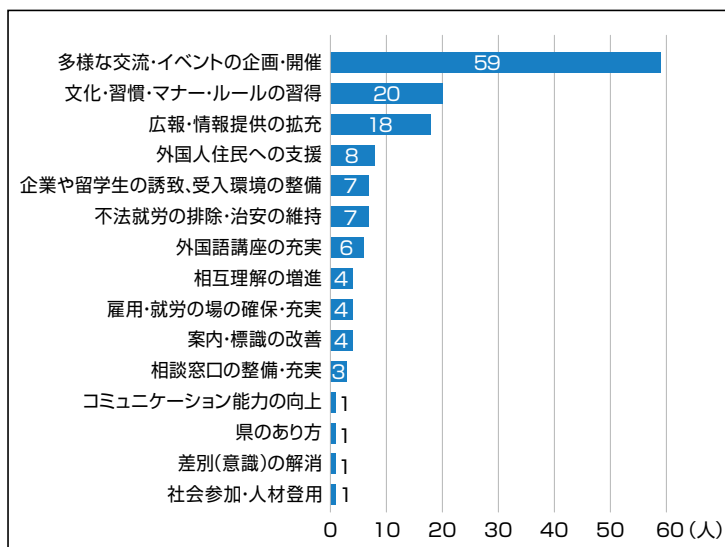


県が外国人住民の支援のための施策を実施しているのを知っているかについては、「あまり聞いたことがない」が51.7%と5割を超え、これに「全く聞いたことがない」の28.6%を合わせた【聞いたことがない】が80.3%と8割を超えている。

一方、「少しは知っている」が15.8%で、「よく知っている」の3.4%を合わせた【知っている】は19.2%と2割に満たない。

(11)

外国人住民と共に暮らす香川づくりを実現するために、県に期待することはありますか。あればお書きください。



この問には、139人から154件の回答があったが、うち10件はこの問の趣旨に合わない内容であったので除外し、144件を有効回答とした。

「多様な交流・イベントの企画・開催」に係る取組を期待する回答者が最も多く、次いで「文化・習慣・マナー・ルールの習得」が多い。

これらに、「広報・情報提供の拡充」、「外国人への支援」などが続いている。